

三重タイム

三重タイムとは、地元三重県で行われている様々な超教派の働きにスポットライトをあてていく時間です。

場所:本館 2階礼拝堂メインステージより各5～10分の発表

ブロック①



恵子・ホームズOBE
アガペ・ワールド創設者&
ディレクター

アガペ・ワールド(和解のミニストリー)

熊野古道で有名な三重県熊野市紀和町出身の恵子さんが始められました。日本や日本人に対する憎しみで燃えていた元極東捕虜(FEPOWs)たちが日本人に接し、日本を許すと宣言したとたんに

身体も解放され、車椅子から立ちあがって歩き始めた元英兵士もいました。戦争の醜い過去も真摯に受け止め、人として相手に向き合う時、アガペの力が働きます。

ブロック②



塚本剛 春美
海の見えるブックカフェ
本屋ぴりぽ 店主

三重県のたった一つのキリスト教書店

2006年に四日市の自宅で始めたキリスト教書店「ぴりぽ」。三重県にはキリスト教書店がなく、そのためにクリスチャンが他の教会の人に会う機会は生まれていませんでした。2021年、コロナ禍にあ

りながら、主が新たなビジョンをくださり、鈴鹿市の大海原を目にしなが、誰でも気軽に立ち寄れる、出会いと分かち合いの文書伝道、「ブックカフェ・海の見える本屋・ぴりぽ」となりました。

ブロック③



永井雅玲 (ヤーリン)
創愛キリスト教会 執事、シャロームゴスペルフラリーダー

ゴスペルフラのミニストリー

2018年に教会内の活動グループとして立ち上がったゴスペル・フラチーム、「シャロームゴスペルフラ」。

シャロームゴスペルフラは、教会での伝道集会、保育園、公民館、小学校、病院、介護施設、ダルクで福音伝道を行っている

ます。普段は、なかなか伝道に行けないところ、直接福音を語ることが難しい場所でも、踊りを通して、福音を表現し、伝道しています。

フォーラムではゴスペルフラを1曲踊り賛美させていただきます

ブロック④



小野田雄二
日本キリスト改革派・
上野緑ヶ丘教会牧師

伊賀市の超教派祈祷会

2004年のことです。毎年3月に行われている世界祈祷日集会終了後に、提案がありました。「年に一度だけでなく、集まれたらいい」そこで、たまたまこの年の

当番教会であった上野緑ヶ丘教会が主催して、この年の秋に第一回目を行いました。以来、毎年11月に8教会から20名程の参加を得ています。

ブロック⑤



中川 正
ベテルセンター代表・ベテル
リバーサイドチャペル 主管

三重県庁前祈祷会・三重祈りの輪

県庁前祈祷会は、1998年、リバイバルミッションより、都道府県すべての県庁前での祈りの呼びかけに応じて始まりました。以降、毎年2月11日の建国記念日に、超教派の祈りのときを持っています。コロナ禍で、県庁前祈祷会がオンラ

インになったことをきっかけに、三重県全域に広がりました。そこから、2月11日だけではなく、LINEグループを通じて恒常的に祈りを広げたいという願いが生まれ、2023年2月に「三重祈りの輪」が発足しました。